



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5471 URL http://www.daido.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 岩本 順司 (TEL) 052-963-7501  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	370,846	14.6	27,871	58.1	28,200	53.9	18,306	68.1
29年3月期第3四半期	323,536	△6.5	17,631	0.2	18,326	△0.8	10,888	65.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 34,345百万円(93.6%) 29年3月期第3四半期 17,743百万円(345.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	429.38	—
29年3月期第3四半期	256.83	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	636,324	318,385	45.0
29年3月期	574,169	290,501	45.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 286,134百万円 29年3月期 259,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
30年3月期	—	6.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	60.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 2円00銭

当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円となり、1株当たり年間配当金は12円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	496,000	11.4	36,000	41.1	36,000	36.5	23,000	40.4	539.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	43,448,769株	29年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	817,408株	29年3月期	813,343株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	42,633,961株	29年3月期3Q	42,396,714株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 当社は、平成29年6月28日開催の第93期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 第2四半期末 6円(注1) 期末 6円(注2)
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 53円95銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は12円となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しが緩やかに継続しており、企業活動に関しても鉱工業生産に改善が続くなど、緩やかな景気回復基調が継続しました。海外経済については、米国は個人消費や設備投資が増加し、着実な景気回復が続きました。欧州は、堅調な雇用環境を背景に、緩やかな景気回復が続きました。中国は、内需とインフラ関連投資の堅調に加え、輸出も持ち直しており、安定した成長となりました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である日系自動車産業に関しましては、国内販売の回復に加え、中国での販売増加もあり、好調が継続しました。また、建産機用途は中国向けの旺盛な需要を受け、増加しました。半導体関連の設備投資も引き続き活況で、関連需要は好調が継続しました。原料関係では、鉄屑価格は中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比473億9百万円増収の3,708億46百万円、経常利益は前年同期比98億74百万円増益の282億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比74億17百万円増益の183億6百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比16.8%増加の1,388億29百万円、営業利益は前年同期比16億6百万円増益の60億64百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス製品は、自動車、半導体向けが好調で、数量は前年同期比で増加しました。高合金製品は自動車関連需要が増加したことから、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、EPS（電動パワーステアリング）用途が引き続き増加したことに加え、ハイブリッドカーの駆動用モーター向けも増加したこと等から前年同期比で数量が増加しました。粉末製品は海外自動車部品向けの需要に一部弱さが見られたものの、ハイブリッドカー向けの需要等は堅調に推移し、前年同期比で数量は横ばいとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、前年同期比15.4%増加の1,255億7百万円、営業利益は前年同期比42億10百万円増益の166億29百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、航空機関連需要が堅調に推移していることに加え、半導体向けの需要も増加したことから売上高は前年同期比で増加しました。型鍛造品・エンジンバルブ部品は、自動車販売の好調を受け、売上高は前年同期比で増加しました。精密鋳造品は、ターボ関連製品の需要拡大が継続し、売上高は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比10.6%増加の783億66百万円、営業損益は前年同期比31億42百万円増益の20億35百万円となりました。

## ④エンジニアリング

前年同期に比べ一部製品で売上案件が減少したこと等から、当第3四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は前年同期比0.7%減少の162億7百万円、営業利益は前年同期比4億23百万円増益の10億14百万円となりました。

## ⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第3四半期連結累計期間の流通・サービスの売上高は前年同期比38.3%増加の119億36百万円、営業利益は前年同期比8億66百万円増益の21億32百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ621億55百万円増加し6,363億24百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「たな卸資産」の増加129億12百万円…主として生産量の増加による増加。
- ・「有形固定資産」の増加147億58百万円…主として新規連結による増加。
- ・「投資有価証券」の増加161億61百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ278億84百万円増加し3,183億85百万円となりました。純資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加126億78百万円…主として親会社株主に帰属する四半期純利益183億6百万円の計上による増加。
- ・「その他有価証券評価差額金」の増加125億88百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、日米欧の先進国は堅調な雇用環境を背景に緩やかな成長が持続することが見込まれます。中国は、過剰債務問題の顕在化リスクは存在するものの、政府の景気対策等により安定した成長が見込まれます。このような環境の下、主要需要先である自動車関連、建産機向け、半導体関連の需要は引き続き堅調に推移すると見込んでおります。一方、コスト面では、中国の地条鋼廃止に端を発した鉄屑価格の上昇、中国の電炉稼働増及び環境規制による電極・耐火物等の諸資材価格の上昇、さらには原油価格の上昇に伴うエネルギーコストの上昇があり、今後はコストの大幅な増加が見込まれます。また、北朝鮮情勢等の地政学リスク、米国の保護主義的政策等により経済環境が変化するリスク、為替の急激な変動等も引き続き当社グループの業績に影響を与える注視すべきリスクと認識しております。

このような経営環境の中、当社グループは引き続きお客様との共創、成長領域への注力、QCD（品質、コスト、納期対応力）競争力の強化を進めてまいります。市場の変化・お客様の動向も常に注視し、その変化に即応してまいります。

当期の連結業績につきましては、前回（平成29年10月31日）公表した業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,966	42,395
受取手形及び売掛金	103,498	112,768
電子記録債権	9,716	12,517
たな卸資産	98,477	111,390
その他	10,714	9,546
貸倒引当金	△164	△61
流動資産合計	257,208	288,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,342	76,099
機械装置及び運搬具(純額)	79,353	81,328
その他(純額)	43,219	48,246
有形固定資産合計	190,915	205,674
無形固定資産		
のれん	11	—
その他	2,181	1,802
無形固定資産合計	2,193	1,802
投資その他の資産		
投資有価証券	96,922	113,084
退職給付に係る資産	21,091	21,401
その他	5,954	5,902
貸倒引当金	△116	△97
投資その他の資産合計	123,851	140,290
固定資産合計	316,960	347,767
資産合計	574,169	636,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,499	49,011
電子記録債務	28,660	35,872
短期借入金	46,866	72,077
未払法人税等	4,636	3,834
賞与引当金	7,088	3,321
その他の引当金	1,016	1,068
その他	18,023	24,125
流動負債合計	152,790	189,312
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	74,531	67,318
その他の引当金	4,269	3,928
退職給付に係る負債	9,220	9,551
その他	22,856	27,827
固定負債合計	130,877	128,626
負債合計	283,668	317,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	29,927	30,103
利益剰余金	169,496	182,175
自己株式	△3,613	△3,642
株主資本合計	232,983	245,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,236	33,825
繰延ヘッジ損益	0	△4
土地再評価差額金	1,814	1,814
為替換算調整勘定	1,451	1,510
退職給付に係る調整累計額	2,364	3,179
その他の包括利益累計額合計	26,867	40,325
非支配株主持分	30,649	32,250
純資産合計	290,501	318,385
負債純資産合計	574,169	636,324

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	323,536	370,846
売上原価	266,770	301,276
売上総利益	56,766	69,570
販売費及び一般管理費	39,135	41,698
営業利益	17,631	27,871
営業外収益		
受取利息	116	114
受取配当金	1,369	1,533
持分法による投資利益	552	815
為替差益	—	32
その他	1,230	1,133
営業外収益合計	3,269	3,629
営業外費用		
支払利息	741	714
固定資産除却損	353	768
環境対策引当金繰入額	614	622
環境対策費	11	560
為替差損	228	—
その他	623	633
営業外費用合計	2,573	3,299
経常利益	18,326	28,200
特別利益		
固定資産売却益	420	756
投資有価証券売却益	112	—
特別利益合計	533	756
特別損失		
投資有価証券評価損	73	7
減損損失	372	—
特別損失合計	445	7
税金等調整前四半期純利益	18,414	28,950
法人税、住民税及び事業税	4,650	7,430
法人税等調整額	1,445	984
法人税等合計	6,096	8,414
四半期純利益	12,318	20,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,429	2,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,888	18,306

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	12,318	20,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,500	12,529
繰延ヘッジ損益	△4	△10
為替換算調整勘定	△2,715	345
退職給付に係る調整額	1,611	858
持分法適用会社に対する持分相当額	32	88
その他の包括利益合計	5,424	13,810
四半期包括利益	17,743	34,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,632	31,918
非支配株主に係る四半期包括利益	1,110	2,427

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. および(有)タカクラ・ファンディング・コーポレーションを営業者とする匿名組合は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社および国内連結子会社は定率法（ただし、当社の知多工場、知多型鍛造工場、知多帯鋼工場、一部の国内連結子会社、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物は定額法）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社および国内連結子会社の減価償却方法を定額法に統一いたしました。

当社グループは、「2017中期経営計画」において、QCD（品質、コスト、納期対応力）競争力の強化や成長領域への注力を掲げ、渋川工場における世界最大級の大型真空誘導炉導入や知多工場における再溶解炉設置等の戦略的な設備投資を実施してまいりました。これらの設備投資を契機として、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法について改めて検討を行った結果、当社および国内連結子会社の有形固定資産については、溶解プロセスの最適化や拡販および製品ポートフォリオの改善により、今後、長期にわたり安定的な稼働が見込まれることから、第1四半期連結会計期間より定額法に統一することが使用実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

これにより、従来の方によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は1,540百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,555百万円増加しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	118,909	108,794	70,875	16,329	8,627	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,006	11,029	16,687	1,241	8,704	85,670	△85,670	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	17,332	409,207	△85,670	323,536
セグメント利益 又は損失(△)	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	138,829	125,507	78,366	16,207	11,936	370,846	—	370,846
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,975	11,322	17,426	1,490	8,528	87,745	△87,745	—
計	187,805	136,829	95,793	17,698	20,465	458,592	△87,745	370,846
セグメント利益	6,064	16,629	2,035	1,014	2,132	27,876	△4	27,871

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より当社および国内連結子会社の減価償却方法を定額法に統一しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が特殊鋼鋼材で273百万円、機能材料・磁性材料で588百万円、自動車部品・産業機械部品で608百万円、エンジニアリングで8百万円、流通・サービスで61百万円それぞれ増加しております。

## 3. 補足説明資料

## (1) 当第3四半期のセグメント別連結売上高

(単位：百万円、%)

	29年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	138,829	19,919	16.8
機能材料・磁性材料	125,507	16,712	15.4
自動車・産業機械部品	78,366	7,490	10.6
エンジニアリング	16,207	-121	-0.7
流通・サービス	11,936	3,308	38.3
計	370,846	47,309	14.6

## (2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	29年12月 第3四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	370,846	47,309	14.6
営業利益	27,871	10,240	58.1
営業外収益	3,629	359	—
営業外費用	3,299	726	—
経常利益	28,200	9,874	53.9
特別利益	756	222	—
特別損失	7	-438	—
税引前純利益	28,950	10,535	—
法人税等	8,414	2,318	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	2,229	799	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,306	7,417	68.1

## (3) 当第3四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格は正	119	1. 原燃料等市況	152
2. 販売数量増加	81	2. 固定費の増加	8
3. 内容構成差他	51	3. 営業外損益	4
4. 変動費の改善	12		
計(a)	263	計(b)	164
		差引(a) - (b)	99

	28年12月 第3四半期	29年12月 第3四半期
H2建値 (千円/t)	16.5	24.2
ニッケル(LME) (\$/1b)	4.5	4.7
為替レート(TTM) (円/\$)	106.6	111.7

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 29年3月末	当第3四半期 29年12月末	増減	科目	前期 29年3月末	当第3四半期 29年12月末	増減
流動資産	257,208	288,556	31,347	負債	283,668	317,939	34,270
現預金	34,966	42,395	7,428	営業債務	75,159	84,884	9,724
営業債権	113,215	125,285	12,070	有利子負債	142,599	160,342	17,743
たな卸資産	98,477	111,390	12,912	その他	65,908	72,711	6,803
その他	10,549	9,485	-1,063				
固定資産	316,960	347,767	30,807	純資産	290,501	318,385	27,884
有形固定資産	190,915	205,674	14,758	株主資本	232,983	245,809	12,825
無形固定資産	2,193	1,802	-390	その他の包括利益 累計額	26,867	40,325	13,457
投資その他の資産	123,851	140,290	16,438	非支配株主持分	30,649	32,250	1,601
資産合計	574,169	636,324	62,155	負債純資産合計	574,169	636,324	62,155